

(別紙)

障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名 福井県

【基本情報】

フリガナ	フクイケンイリョウセイカツキョウドウクミアイ
法人名	福井県医療生活協同組合
フリガナ	ツルガセイキョウヘルパステーショントントン
事業所名	つるが生協ヘルパステーションとんとん
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
居宅介護	
職員数（常勤換算数）【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	
6.9人	
ICT機器等導入完了日	令和6年 7月 31日

※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている）
職員間の情報伝達・情報共有	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
請求業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
勤怠管理	①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている）
シフト表作成	①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている）
給与業務	①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている）

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等に対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等に対応）



(2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
③タブレット	①作業の迅速化	HeadWolfFpad5	5	
⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト	③業務の統合化	ワイズマンASPサービス「すぐらくHome	1	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
- ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
- ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A. ひと月当たり発生件数	B. 年間発生件数 (A×12)				
① 支援記録の作成	9人	223件	2,676件	5分	223時間	25時間	
② 職員間の情報伝達・情報共有	9人	223件	2,676件	5分	223時間	25時間	
③ 請求業務	1人	223件	2,676件	1分	45時間	45時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		669件	8,028件	11分	491時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1> A. ひと月当たり発生件数の算出方法

① 支援記録の作成	2024年4月の「居宅介護」の延べ請求件数を基に算出。
② 職員間の情報伝達・情報共有	2024年4月の「居宅介護」の延べ請求件数を基に算出。
③ 請求業務	2024年4月の「居宅介護」の延べ請求件数を基に算出。

<※2> C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

① 支援記録の作成	訪問内容の1件当たりの記録作成時間を計測し（見込み含む）、合計した後にひと月当たりの発生件数で除した。
② 職員間の情報伝達・情報共有	職員間の情報伝達・情報共有に係る1件当たりの時間を計測し（見込み含む）、合計した後にひと月当たりの発生件数で除した。
③ 請求業務	請求ソフトに実績を入力する際の1件当たりの時間を測定し（見込み含む）、合計した後にひと月当たりの発生件数で除した。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A. ひと月当たり発生件数	B. 年間発生件数 (A×12)				
① 支援記録の作成	9人	223件	2,676件	4分	178時間	20時間	
② 職員間の情報伝達・情報共有	9人	223件	2,676件	2分	89時間	10時間	
③ 請求業務	1人	223件	2,676件	0分	0時間	0時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		669件	8,028件	6分	268時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1> A. ひと月当たり発生件数の算出方法

① 支援記録の作成	2024年4月の「居宅介護」の延べ請求件数を基に算出。
② 職員間の情報伝達・情報共有	2024年4月の「居宅介護」の延べ請求件数を基に算出。
③ 請求業務	2024年4月の「居宅介護」の延べ請求件数を基に算出。

<※2> C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

① 支援記録の作成	訪問内容の1件当たりの記録作成時間を計測し（見込み含む）、合計した後にひと月当たりの発生件数で除した。
② 職員間の情報伝達・情報共有	職員間の情報伝達・情報共有に係る1件当たりの時間を計測し（見込み含む）、合計した後にひと月当たりの発生件数で除した。
③ 請求業務	請求ソフトへの実績入力はタブレットへ入力した実績より自動反映されるため入力に係る手間はほぼなくなり、0とした。

年間業務時間数削減率 (%)

45.5%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A. ひと月当たり	B. 年間作成文書量 (A×12)
訪問実績関連文書	223ページ	2,676ページ
情報共有関連文書	30ページ	360ページ
請求業務関連文書	17ページ	204ページ
	270ページ	3,240ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A. ひと月当たり	B. 年間作成文書量 (A×12)
訪問実績関連文書	0ページ	0ページ
情報共有関連文書	0ページ	0ページ
請求業務関連文書	17ページ	204ページ
	17ページ	204ページ

年間作成文書量削減率 (%)

93.7%

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

【推進方法】現場の管理者の意見や請求担当者の実情を聞き取り課題を把握。その後、管理者、サービス提供責任者、請求担当者と共に業者よりICTソフトのプレゼンテーションを受け、最終的に導入するに至った。
【工夫した点】トップダウンの導入にならないよう、現場の意見を取り入れるよう心掛けた。
【苦労した点】ICT機器の扱いに関して職員間で差がある。また、不具合が発生した際に対応できる職員が限られている。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。
また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果
<input checked="" type="checkbox"/> 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input checked="" type="checkbox"/> 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/> 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
<input type="checkbox"/> 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input type="checkbox"/> 5 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/> 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

ソフトウェア導入による効果
<input checked="" type="checkbox"/> 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input checked="" type="checkbox"/> 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/> 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input checked="" type="checkbox"/> 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/> 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/> 6 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/> 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

①支援記録の作成：外出先での隙間時間を活用するなど、効率良く記録できるようになった。
②職員間の情報伝達・情報共有：これまで紙に記録していたり、記録を転記する際にかかっていた手間を省き、情報共有の効率化と一元化を図ることができた。
③請求業務：これまで紙の記録を元に1台のPCで請求の実績入力を行っていた請求業務の手間を省くことができた。また、当事業所は介護保険の指定も受けているが、介護保険と障がい福祉の請求ソフトが異なっており、このことによる業務の煩雑さがあった。今回請求ソフトを統一し、一気通貫した請求業務とすることで業務効率化を図ることができた。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

①訪問先の拡大
②管理業務、サ責業務への時間の活用

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減	有
-------------------	---

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	約15万円
職員の賃上げ等への充当	無
その他職場環境の改善への充当（※1）	有
サービスの質の向上に係る取組への充当（※2）	無

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

これまで使用していたサービス提供実績の記録用紙を廃止したことで、経費の削減年間約15万円の経費削減につながった

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。